

「加西市さわやか市民賞」は、芸術、スポーツ等の分野において輝かしい成果をおさめ、市のイメージアップに寄与した個人や団体の功績をたたえるものです。今回3名の方に「加西市さわやか市民賞」をお贈りしました。また、加西市を代表して全国大会等に出場する選手に対して、大会等での活躍を祈願して2名の方に賞賜金を贈呈しました。



▲左から 霜浦さん、薦川さん、山内さん、小東さん

霜浦 宣也さん（賞賜金）

「第24回ジャパンクラシックマスターズパワーリフティング選手権大会」男子M259kg級に出場し、465kgを記録し「第25回ジャパンクラシックマスターズパワーリフティング選手権大会」男子M259kg級に出場され見事優勝されました。今後の目標は「昨年に続いて連覇をしたい」と話されました。

薦川 真優さん（さわやか市民賞・賞賜金）

兵庫県中学校学年別水泳競技大会に出場し、中学3年女子200m背泳ぎの部で2分20秒27、200m個人メドレーの部では2分55秒39の記録を出し見事優勝されました。

また、第89回兵庫県選手権水泳競技大会、第74回兵庫県民体育大会水泳競技大会女子200m背泳ぎに出場し、2分20秒41の記録を出し、同全国大会への出場権を獲得されました。大会での活躍を祈願して賞賜金を贈呈。「全国入賞と、ジャパンオープンに出ることが目標です」と力強く話されました。

山内 莉瑚さん（さわやか市民賞）

兵庫県納税貯蓄組合総連合会および小野・加西・加東納税貯蓄組合連合会主催の「税に関する書道・ポスター」（ポスターの部）において、「兵庫県知事賞」を受賞。作品を出展するにあたり、教科書やインターネットで税の事を調べ、過去の作品を参考にして自分なりの視点で描きました。

「将来の夢は水族館の飼育員になりたい。身近な夢は、中学校で陸上部に入って県大会に出場すること」と笑顔で話されました。

小東 快翔さん（さわやか市民賞）

兵庫県・神戸市・兵庫県技能士会連合会・神戸市技能職団体連合会主催の「2020年ものづくり子ども絵画展」において、応募総数740点の中から最優秀賞である「兵庫県知事賞」を受賞。「お父さんたちの仕事場」というタイトルで、電気工事士をしている父親の仕事場の様子を描きました。「部品や制御盤の細かい所までよく見て描くようにしました。将来はお父さんと同じような仕事がしたい」と笑顔で話してくれました。



▲受賞を喜ぶ織邊さん

赤十字ポスターコンクール優秀賞受賞

織邊和さんに市教育委員会賞を贈呈

12月18日、織邊和さん（加西中1年）に加西市教育委員会表彰を贈呈しました。織邊さんは、日本赤十字社兵庫県支部主催の「令和2年度赤十字ポスターコンクール」において、日本語、英語、フランス語、スワヒリ語で「ありがとう」と書いたボードを手にした医療従事者の姿を描き、県内67校425点の応募の中から、優秀賞に選ばれました。織邊さんは「新型コロナウイルス感染症がまん延している。世界の医療従事者への感謝の気持ちを伝えたいと思い描きました。時間をかけたので賞をもらえてうれしい」と話されました。

南部給食センターが完成

問合先／教育総務課 ☎42-8770
fax43-1803 kyoiku@city.kasai.lg.jp



▲1日最大2000食の調理能力のある南部給食センター



▲調理室を見学する参列者ら

老朽化により建設を進めていた新南部給食センターが完成し、12月27日、記念式典が開催されました。

1月12日から稼働しており、北部と南部の2センターで市内の小中学校と特別支援学校の約3,000人の児童・生徒らに旬の食材を届けます。

新センターは鉄骨造2階建てであり、1階、調理エリアは清潔に保つためにドライシステムを採用、配送室、回収室にはドックシェルターを設置し、害虫等の侵入を防止するなど衛生管理に配慮しています。また、厨房機器についてもスチームコンベクションオーブンはじめ最新の機器を導入し、今まで単独調理場では作れなかった献立も調理できるようになりました。2階には会議室や職員の休憩室などがあります。工事に要した事業費は、約8億9000万円。

藤本隆文南部給食センター所長は「旧センター時代と比べ調理する量も増え、機械も一新されて慣れるまでは大変だが、子どもたちに安全安心でおいしい給食を提供していきたい」と話されました。



▲蒸料理、焼き料理ができる多機能の加熱調理機「スチームコンベクションオーブン」